

第 31 回運動学習研究会 (2023)

■開催概要

- ・ 日 時：2023 年 8 月 9 日 (水) 13:00 ～ 8 月 10 日 (木) 13:15
- ・ 会 場：筑波大学・体育芸術エリア 5C 棟 3 階 317 室 (オンライン併用)
- ・ 参加費：無料 (懇親会費は別途徴収)

■発表スケジュール

1 日目: 8月9日(水)

No.	開始	終了	氏名	所属	発表演題	時間 (分)
	13:00	13:05			(開会・諸連絡)	
1	13:05	13:35	小嶋 岳	筑波大学大学院	直線狭路における自転車走行中の身体動作と視線行動の関係	30
2	13:35	14:05	越水 悠介	山梨大学大学院	自然歩道でのストック歩行歩容の変化	30
3	14:05	14:35	長 雄希	筑波大学大学院	サッカーのプレー時における創造性と関連する要因・思考について	30
4	14:35	15:05	有賀 湧史	山梨大学大学院	サッカー場に働くボール引力とゴール引力の相互作用により生じるゲームの均衡の破れ	30
					(休憩:10分)	
5	15:15	15:45	小野 隼佑	筑波大学大学院	攻撃パターンでのトレーニングがサッカーのゲームでのプレーに与える影響	30
6	15:45	16:15	山地 聡史	東北大学大学院	Bumper-ballゲームから紐解く「駆け引き」のメカニズム	30
7	16:15	16:45	横田 陽生	筑波大学大学院	サッカー選手における内受容感覚と意思決定の関係	30
8	16:45	17:00	奥村 侑也	静岡大学	タイミング行動におけるベイズ推定: 補足的発声による複数の事前分布の学び分けの促進	15
					(休憩:10分)	
9	17:10	17:25	朝日 南々香	静岡大学大学院	クリックトレインを利用した皮膚ウサギ錯覚のベイズ推定モデルの検証	15
10	17:25	17:55	筒井 和詩	名古屋大学	自律的エージェントの競争的かつ協調的な集団行動の獲得過程(仮)	30
11	17:55	18:30	女川 亮司	早稲田大学	リスク下での運動意思決定における最適計算と非最適な行動	35
12	18:30	19:00	田中 美吏	武庫川女子大学	競争下での意思決定や模倣—叩いて被ってじゃんけんぼん実験—	30
	20:00	22:00			懇親会(つくば駅付近)	120+

2 日目: 8月10日(木)

No.	開始	終了	氏名	所属	発表演題	時間 (分)
13	8:20	8:50	山本 真史	日本福祉大学	ヒトバイオリジカルモーションにおける勢い評価	30
14	8:50	9:30	長谷川 弓子	岩手大学	ゴルフパッティング学習への開放型要素導入の試み	40
15	9:30	10:00	平川 武仁	大阪体育大学	スポーツにおける視覚探索方略・行動: システマティック・レビュー	30
					(休憩:10分)	
16	10:10	10:40	木島 章文	山梨大学	仮想現実空間における身体接触リスクの欠如が協応秩序の厳密性に与える効果	30
17	10:40	11:10	平田 智秋	十文字学園女子大学	ブランコ漕ぎの位相シフトに関わる要因	30
18	11:10	11:40	中山 雅雄	筑波大学	サッカーの指導現場での運動学習理論の援用の可能性を考える	30
					(休憩:10分)	
19	11:50	12:30	山田 憲政	中京大学	スポーツ心理学の独自性 失敗できないときのフィッツの法則	40
20	12:30	13:05	山本 裕二	新潟医療福祉大学	予測不能な他者をいかに制御するか	35
	13:05	13:15			(諸連絡・閉会)	

※発表時間は質疑応答も含めた時間です

※学生の発表演題 (No.1-9) は、門田浩二賞 (若手研究発表賞) の選考対象となります